

## 大ナゴヤ大学では、参加者・協力者を募集しています

学生

### 授業に参加する

街じゅうをキャンパスに、さまざまなテーマで授業を開催しています。  
興味を持ったらまずはホームページから学生登録を！誰でも学生になれます。

ボラスター

### 授業やイベントを手伝う

会場設営や授業の受付、レポート、記録、学生さんとのコミュニケーションなど。  
お手伝いをしていただけるボランティアスタッフを募集しています。仲間になりましょう！

授業  
コーディネーター

### 授業をつくる

ナゴヤの「面白い！」を発掘し、「授業」としてコーディネート。  
「ナゴヤって面白い街なんだ」と、思ってもらえるきっかけをつくる仕掛け人です。

サポーター

いただいた寄付金は、活動を続けていくため、事務局・講座の運営等に充てさせていただきます。  
大ナゴヤ大学のコンセプトにご賛同いただき、ご支援をお願いいたします。

法人会員  
・  
授業協賛

### コラボする

企業・団体・店舗・個人・行政などと、コラボ授業や商品開発等。  
力を合わせてナゴヤを面白がるヒト、モノ、コト作りと一緒に作っていきたいと考えています。

ゼミ・課・部

### キャンパスライフを楽しむ

学生のみなさんの自発的なコミュニティであるゼミ・課・部活動への参加も募集しています。  
キャンパスライフでの活動も楽しみましょう！

# 大ナゴヤ大学

2013年度活動報告書

ANNUAL REPORT 2013

特定非営利活動法人 大ナゴヤ・ユニバーシティー・ネットワーク  
〒460-0011名古屋市中区大須3-42-30 ALA大須ビル201(事務局所在地)  
TEL 070-5459-8213 E-mail dai-nagoya@univnet.jp

<http://dai-nagoya.univnet.jp/>

copyright© Dai Nagoya University Network 2013. All rights reserved.

大ナゴヤ大学で  
ナゴヤを面白がる人を増やしたい。

いつもの私たちのまちを「面白がる」という視点でじっくり見てみる。

見方を変えるだけで驚くほどたくさんのナゴヤの魅力が見えてきます。  
そんな気づきや発見を一人でも多くの人たちとわかつち合うことができれば、  
自然と私たちの街はキラキラと輝きだすのではないかでしょうか。  
私たち大ナゴヤ大学は「ナゴヤを面白がる人」の輪を広げる街づくりを目指します。

街の魅力をテーマに「授業」を開催

大ナゴヤ大学には校舎はありません。  
「街じゅうがキャンパス」で、「誰でも先生、誰でも生徒」をコンセプトにした  
「授業」を企画し開催しています。  
街なかにある色々な面白い「ヒト」「モノ」「コト」をテーマに  
独自の目線を通した「授業」に組み立て、  
楽しみながら学ぶことで街に関心をもってもらうという  
ユニークな取り組みを行うNPO法人です。

## 「授業」は「きっかけ」づくり

「授業」は、学ぶだけではなく、  
考えたり話し合ったり、街や人と交流する場になっています。  
そこから生まれる新たなコミュニティーや活動など、  
広がりある出来ごとの「きっかけ」にもなっています。

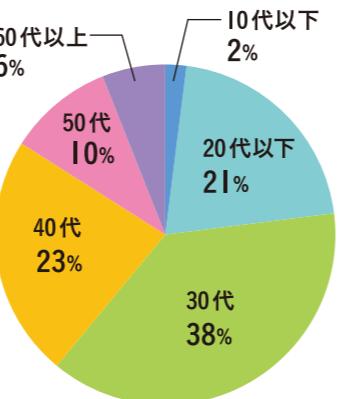
## 「関わり」は、あなたらしく

「授業」はもちろん、ゼミ、サークルなどの「キャンパスライフ」を楽しむこと、ボランティアスタッフ（ボラスタ）としてのお手伝いや、サポートー、さらに授業コーディネーターとして授業も企画できたりと、関わるスタイルはさまざまです。また関わる人々は、年齢・職業など関係なくフラットな立場で集まり、自主的な活動をしています。

### 学生登録数

2014年3月末

3,369 人



## ボランティアスタッフ

2014年3月末

|4| 人

大学生～社会人と  
幅広い層が関わっています。

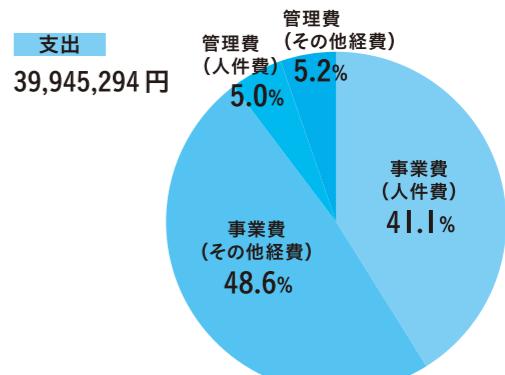
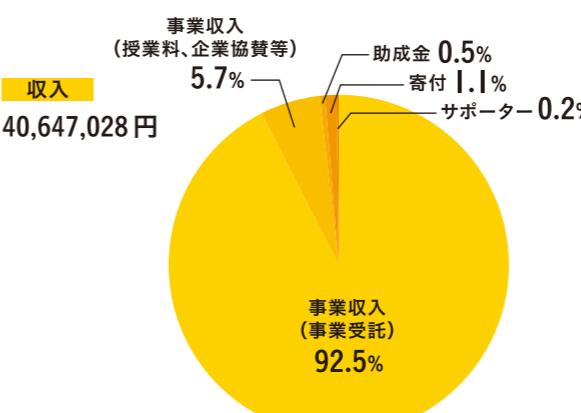
## メディア掲載

- |             |                           |                                |
|-------------|---------------------------|--------------------------------|
| 2013年4月     | 〈雑誌〉SA-CLASS 春号           | 「社会のミカタ」でSOCIAL TOWER PROJECT  |
| 2013年4月4日   | 〈WEB〉サカエ経済新聞              | 4月19日開催 大ナゴヤ大学 Renewal Party!! |
| 2013年4月20日  | 〈新聞〉中日新聞                  | 4月19日開催 大ナゴヤ大学 Renewal Party!! |
| 2013年6月12日  | 〈WEB〉サカエ経済新聞              | SOCIAL TOWER TOUR              |
| 2013年6月16日  | 〈新聞〉中日新聞                  | 6月15日開催 みなと祭授業                 |
| 2013年6月24日  | 〈WEB〉サカエ経済新聞              | 新プロジェクト「NAMO.」                 |
| 2013年9月13日  | 〈WEB〉サカエ経済新聞              | 新プロジェクト「NAMO.」                 |
| 2013年9月14日  | 〈新聞〉中日新聞                  | SOCIAL TOWER CITY GUIDE        |
| 2013年9月23日  | 〈新聞〉中日新聞                  | 大ナゴヤ大学 活動                      |
| 2013年10月1日  | 〈雑誌〉ソトコト                  | 2013年10月号"ソーシャル系大学案内"に掲載       |
| 2013年10月4日  | 〈WEB〉月刊ケリー ナゴ美ニュース        | SOCIAL TOWER MARKET 開催         |
| 2013年10月7日  | 〈WEB〉Walkerplus ニュースウォーカー | SOCIAL TOWER MARKET 開催         |
| 2013年10月29日 | 〈WEB〉YABA-T/z             | 11月16・17日開催 円頓寺イベント(NAMO.)     |
| 2013年11月3日  | 〈新聞〉中日新聞                  | 11月2日開催、ダンボール授業                |
| 2013年11月6日  | 〈ラジオ〉CBC ラジオ              | 11月16・17日開催 円頓寺イベント(NAMO.)     |
| 2013年11月7日  | 〈WEB〉月刊ケリー ナゴ美ニュース        | 11月16・17日開催 円頓寺イベント(NAMO.)     |
| 2013年11月9日  | 〈WEB〉名駅経済新聞               | 11月16・17日開催 円頓寺イベント(NAMO.)     |
| 2013年11月12日 | 〈新聞〉中日新聞                  | SOCIAL TOWER CITY GUIDE        |
| 2013年11月14日 | 〈ラジオ〉FM おかざき              | 11月16・17日開催 円頓寺イベント(NAMO.)     |
| 2013年11月15日 | 〈テレビ〉中京テレビ                | 11月16・17日開催 円頓寺イベント(NAMO.)     |
| 2013年11月16日 | 〈テレビ〉CBC 放送               | 11月16・17日開催 円頓寺イベント(NAMO.)     |
| 2013年11月16日 | 〈新聞〉中日新聞                  | 11月16・17日開催 円頓寺イベント(NAMO.)     |
| 2013年12月12日 | 〈WEB〉名駅経済新聞               | 12月21日開催 ゴスペル授業                |
| 2013年12月19日 | 〈新聞〉読売新聞                  | SOCIAL TOWER CITY GUIDE        |
| 2014年1月4日   | 〈新聞〉中日新聞                  | SOCIAL TOWER CITY GUIDE        |
| 2014年1月17日  | 〈WEB〉サカエ経済新聞              | 1月31日開催 都々逸授業                  |
| 2014年1月23日  | 〈雑誌〉KELLY                 | SOCIAL TOWER CITY GUIDE        |
| 2014年2月19日  | 〈新聞〉朝日新聞                  | カタカナ「ナゴヤ」についてのコメント             |
| 2014年2月19日  | 〈WEB〉マガジンハウス Colocal      | SOCIAL TOWER PROJECT           |
| 2014年2月20日  | 〈雑誌〉東海ウォーカー               | 3月15日開催 大須イベント(NAMO.)          |
| 2014年2月20日  | 〈WEB〉ooooosu!             | 3月15日開催 大須イベント(NAMO.)          |
| 2014年2月20日  | 〈WEB〉アット大須                | 3月15日開催 大須イベント(NAMO.)          |
| 2014年2月22日  | 〈雑誌〉KELLY                 | 3月15日開催 大須イベント(NAMO.)          |
| 2014年2月25日  | 〈雑誌〉東海春ウォーカー              | 3月15日開催 大須イベント(NAMO.)          |
| 2014年2月27日  | 〈WEB〉マガジンハウス Colocal      | 3月15日開催 大須イベント(NAMO.)          |
| 2014年2月     | 〈雑誌〉フリーマガジン ZIGZIG vol.2  | 3月15日開催 大須イベント(NAMO.)          |
| 2014年3月4日   | 〈WEB〉LIVERARY             | SOCIAL TOWER PROJECT           |
| 2014年3月6日   | 〈WEB〉サカエ経済新聞              | 3月15日開催 大須イベント(NAMO.)          |
| 2014年3月10日  | 〈WEB〉LIVERARY             | 3月15日開催 大須イベント(NAMO.)          |
| 2014年3月10日  | 〈ラジオ〉FM 愛知                | 3月15日開催 大須イベント(NAMO.)          |
| 2014年3月13日  | 〈新聞〉中日新聞                  | 3月15日開催 大須イベント(NAMO.)          |
| 2014年3月14日  | 〈ラジオ〉東海ラジオ                | 3月15日開催 大須イベント(NAMO.)          |
| 2014年3月14日  | 〈ラジオ〉ZIP-FM               | 3月15日開催 大須イベント(NAMO.)          |
| 2014年3月15日  | 〈テレビ〉メ~テレ                 | 3月15日開催 大須イベント(NAMO.)          |

財務

平成25年度の収入額は40,647千円、支出額は39,945千円であり、当期収支差額は701千円でした。収入面では、名古屋市から緊急雇用創出事業「久屋大通地区における地域資源活用による都市観光創出事業」、「文化資源を活かしたまち育て・人育て事業」を受託し、事業収入の額が40,647千円(前年度：22,973

千円)と大幅に増加しました。支出面では、緊急雇用創出事業により11名を新規雇用したため、事業費が大幅に増加しました。平成26年度は、499千円にとどまっていた寄付金やサポート制度を充実するとともに、行政機関や企業との連携を強めながら、安定した財務基盤の形成に取り組んで参ります。



## 授業

年間授業総数 32 コマ のべ授業参加者数 588 人



### SAKAE CAMP サカエ キャンプ

2013.10.12 sat 14:00 ~ 2013.10.13 sun 7:00 @名古屋テレビ塔

「ボウサイをデザインする。非常食定期宅配サービス yamory」とのコラボ授業。「栄にいる時に自分が被災したら」を想定し、街にある危険と設備を自分の目で見て確かめる“街歩き”から授業はスタート。総務、施設、救護、食糧、物資の6班に分かれて実際に避難所を運営し、テレビ塔の下にテントを張り、非常食のみで一夜を過ごしました。いつか起こりうる最悪の状況下で生き延びる術を身を以て学びました。



### 民藝・柳宗悦が愛した瀬戸本業窯 800年の歴史散策と作陶体験

2013.12.7 sat 12:00 ~ 15:50 @①窯垣の小径、②瀬戸本業窯

名古屋・栄から電車で30分の位置にある瀬戸市。伝統に支えられてきた「かくれ里」での作陶体験授業を開催。先生は江戸時代から続く窯元の8代目。登り窯の跡地を巡りながら、かつての職人さんが歩いた道を歩くなど、ただ作陶を体験するだけでは得ることのできない、その土地の歴史や守り続けてきた姿を学ぶことができました。作陶という伝統工芸から街を知る授業になりました。



### 大人だって遊びたいんだもん ～みんなで一緒に大ナゴヤ城をつくろう～

2013.11.2 sat 11:30 ~ 16:00 @ノリタケの森

大人も子どもも関係なく五感をフルに活かし全力で遊ぶ、段ボール授業をノリタケの森の芝生広場で開催。お父さんが作った模型に子どもは感動したり、思うがまま自由な発想で大きな大ナゴヤ城を作ったり。最後には皆で芝生一面に広がった段ボールのお片づけをして授業は終了。名古屋には子ども向けて重点をおいた施設やイベントが東京や大阪に比べると少ないので、もっと今回のような授業を開催してほしいという声が上がりました。



### 蓄音機の世界に触れる ～SPレコードに刻まれた100年前の音色～

2014.3.8 sat 13:30 ~ 15:30 @増田先生 ご自宅

先生は100年も前のレコードに刻まれた音楽と、珈琲をひたすら愛し続けている大学教授。教室となる先生のご自宅には、コレクションされた蓄音機やレコードと30個ものアンティークコーヒーミルがびっしりと。蓄音機の歴史を学ぶほか、先生が弾くウッドベースのピチコンサートまで。実際に生徒が蓄音機のゼンマイを手動で回して、針を落とすなど、コーヒーを味わいながら100年前の音色を楽しみました。



### 『大ナゴヤ大学ファンドレイジングプログラム』授業 あなたのアイディアが100万人に遊ばれるゲームになるかも!? スマホのミニゲームを考えよう!

2013.12.7 sat 15:00 ~ 17:00 @MYCAFE 伏見店

先生はスマホのアプリづくりのプロ、グッディア株式会社の代表。みんなのアイディアが実際に商品化されるという授業。初めて授業に参加するという方が半数近くいて、生徒はIT関係者や機械設計、デザイナー、学生と幅広く。アプリのアイデアを出し合ってなく、マーケティング調査の必要性を知るなど、売れるためのノウハウを学びました。一度に幅広い層のアイデアを聞くことのできる貴重な時間になりました。



この授業は、『大ナゴヤ大学ファンドレイジングプログラム』授業として行われました。

### 大ナゴヤ大学ファンドレイジングプログラムとは

企業とNPOが社会貢献や地元を盛り上げる事を目的としたファンドレイジングプログラムです。

- 一般市民=生徒と企業という普段なかなか繋がりのない関係にある両者を繋ぐ事でまちづくりに寄与。
- 企業は一定の条件をクリアした場合、授業を通して生まれた商品やサービスを開発し、一般に販売・提供。
- 大ナゴヤ大学は売上の一部を企業からのファンドレイズとして受け取る。

ヒトとひと、マチとひとの顔の見えるナゴヤを目指す活動を継続するために、この大ナゴヤ大学ファンドレイジングプログラムにご理解とご協力をいただき、実施しました。

### ゲーム提供が実現 2014.4.28

『鬼蹴りII』 iPhone&Android用



### 授業を振り返って

2013年度もさまざまな授業を開催。瀬戸を拠点に活動する授業コーディー 地元企業とのつながりを深めることができました。

ネーターの活躍により瀬戸焼き授業、知多キャンの活動で武豊町での授 個人に着目した蓄音機の授業では、モノの魅力以上に人の魅力を感じ業開催など、関わる人が増えることで新しいエリアとの交流も増えました。られたと思います。「街はヒトでできている」と考える大ナゴヤ大学とし土地の色々な情報を繋ぐことを、大ナゴヤ圏の魅力向上に活かします。ても重要なポイントを改めて感じました。段ボール授業でご協力いただいたノリタケの森様とは、これ以降ゴス 初めてファンドレイジングを活用したゲーム開発の授業では、大ナゴヤペル授業の開催やプロジェクトへのご協力など、継続的に協同。新たに 大学の活動資金づくりの一つの方法を生みだすことができました。

## プロジェクト紹介①

# SOCIAL TOWER PROJECT



<http://socialtower.jp/>

2011年、アナログ放送電波塔としての役目を終えた名古屋テレビ塔に新たな役割を持たせようとスタートした「SOCIAL TOWER PROJECT」。2013年度は、「MARKET」開催と「PAPER」発行を自主運営に切り替えたことに加え、街歩き企画や書籍の発行にも取り組みました。



**SOCIAL TOWER TOUR** 2014.1.24～3.11 2013年度新事業

栄エリアに実際に足を運んでもらうきっかけになればと企画した街あるき事業。「建物マニアによる建築案内」や「錦の老舗高級クラブに行く」、「スイーツの名店めぐり」など、個性的な10ルートを作成。



**SOCIAL TOWER CITY GUIDE** 2013.12 2013年度新事業

「TOUR」の出発点となる名古屋テレビ塔に、情報発信拠点となる「街の案内所」があればもっと栄を楽しんでもらえるのではと、クラウドファンディングで支援金を集めて制作しました。



**SOCIAL TOWER MARKET** 2013.10.19～20

1日目＝曇り・2日目＝大雨と天候に恵まれませんでしたが、多くの来場者があり、中には、2日目に売り上げをたたい出店者も。「悪天候だからこそ、テントの中で会話をしながら販売していた」そうで、コミュニケーションの大切さを実感しました。

## SOCIAL TOWER PAPER

「MARKET」の告知媒体として、スポンサーを募って9月末に発行しました。1・2号目からはページ数を減らしましたが、読み物的な要素は変えなかったため、多くの方に手に取ってもらうことができました。



## SOCIAL TOWER BOOK 2014.3

これまで発行してきたフリーペーパーで集めた情報を、より多くの人に届ける事ができるようにと、書籍(1,000円)として発行しました。あえて大型書店の流通を通さず、ショップなどで会話を大事にした販売スタイルをとっています。販売促進の写真展も展開。



## 授業

「SOCIAL TOWER TOUR」のルートを、大ナゴヤ大学の生徒さんと一緒に考える授業を実施。新しい名古屋・栄の魅力と共に、さまざまな個性的な街あるきルートが発表されました。その中のいくつかを実際にツアー企画で展開し、人気ルートになりました。



## SOCIAL TOWER NIGHT

テレビ塔の中の空きスペースの新しい活用方法を模索する目的を持って、クラブイベントのような形式でイベントを開催。DJやトランペット奏者による音楽ライブなどは好評で、その後も他団体による音楽イベントの開催などに繋がっています。



## プロジェクトを振り返って

プロジェクト初年度では、フリーペーパーの発行と公園内でのマーケットイベントのみの展開でしたが、2013年では、より街に「しみ出す」ことを念頭に入れて展開。2014年に入ってからは、地域の方や地元企業などとより具体的にコラボしながら、自活できる街づくりプロジェクトとして、関わる人を増やしながら広く展開していきたいです。

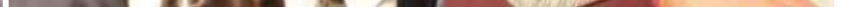
## プロジェクト紹介②

# PROJECT NAMO.

NAMO.

<http://nagoya-namo.jp/>

「歴史・文化」をテーマにしたプロジェクト「NAMO.」は、名古屋市の委託事業として始まりました。「なごやの歴史・文化とユニークに出会い」をキャッチフレーズに「面白くて、おしゃれで…」といった、これまでとは違う「ユニークな出会い」を提供。また、プロジェクトに関わるすべての人において、人育てを実現することも目的としました。



## EVENT 2013.11.16(土)・17(日)@円頓寺 / 2014.3.15(土)@大須

円頓寺商店街と大須界隈の寺社でイベントを開催。「街」という開かれた場で歴史的価値がある会場の魅力とともに、街中で行う芝居や、音楽、伝統芸、食などを通して、名古屋・愛知の「歴史・文化」の面白みを体験、体感できる内容を実施。



## JOURNAL 情報誌／3回発行(1回につき5,000部)

現代の街中で見つけられる切り口から、歴史的背景や魅力を取材して掘り下げていく物語仕立てのフリーペーパー。各号のメインテーマは、名古屋城、堀川、伝統芸能。「歴史や文化を知るって面白い」という出会い方や楽しみ方を提案しました。



## ウェブ

ホームページの情報掲載のほか、スタッフ目線で見つけた歴史あるモチーフを丁寧に取材したブログと、歴史的魅力ある小ネタをSNSを使って頻繁に更新。色んな角度から、現代人にも受け取りやすいネットを通じた情報発信を行いました。



## プロジェクトを振り返って

プロジェクトに携わるまでは、敬遠していた「歴史・文化」というテーマ。ですが、扉を少し開いただけで、知らなかつた魅力が埋もれていることに気づきました。自分たちこそ「ターゲット」と定め、今までのイメージでない「歴史・文化」との出会いを作り出すことに。イベントや事業としては幕を下ろしましたが、NAMO.のコンセプトや活動で授業に参加した方へ新しい出会いを届けた手応えを感じました。培ったものは、大ナゴヤ大学が引き継ぎ、活かし続けていきます。

## キャンパスライフ紹介

### 食ゼミ <http://dnu-syokuzemi.jugem.jp/>

大ナゴヤ大学通常講座「野菜を知る、触れる、アートする。マルシェ・ジャポンでカービング体験」に参加した生徒から、もっと「食」について勉強・探求したいという声があがり、2010年3月に食ゼミが結成されました。現在ゼミ生の登録はおよそ80名。ふあーむ隊(農業)・キッチン隊(調理)・ケンガク隊(社会見学)に分かれ、各自興味のある分野において活動しています。今年度も毎月の大ナゴヤキッチン、酒蔵巡りや農産物の栽培・収穫体験に加え、ふあーむ隊が育てた作物を使い昨年11月に円頓寺で開催したNAMO.イベントにてふるまいを行うなど活動の幅も広がっています。ゼミも5年目を迎え、メンバーが楽しむことを第一に様々な取り組みをしています。



### はたらく課 <http://dnu.jp/hatarakuka/>

合い言葉は、「そんな“はたらく”との出会い」。はたらく課は、身近な人の“はたらく”を知り、自分の“はたらく”を見つけるきっかけづくりをしています。出会いから、新たな気づきや活動につながることが私たちの思いです。

2013年度は、トークイベント「第2回ハタラクデアイ」の開催と、ナゴヤで活躍する5の方にインタビューしました。「第2回ハタラクデアイ」は、社会人1年目の4名が“はたらく”について等身大で語り、“はたらく”について見つめ直す場をつくりました。インタビューは、作家、市役所の職員、焙煎士など、幅広い職種の方の記事をホームページ上に掲載し、様々な“はたらく”的情報発信がされました。今後は、イベントの開催回数、インタビューの記事の本数を増やすこと、より多くの“はたらく”的出会いを提供できるようにしていきたいです。

●活動日  
定例ミーティング：毎月第1水曜日



### 地球の生物部

私たち「地球の生物部」は、街の一角にある植栽スペースを名古屋市からお借りし、毎月1回、朝8時から1時間ほどで花を植えたり、雑草を抜いたり、水やりをしたりと植物のお世話をしています。また、お仕事前に参加する部員さんが多いので、名刺交換ではなく、土いじりを通した朝からのコミュニケーションを楽しんでいます。

自分達の手で植物の世話をすることで自然を感じ、名古屋の街にも関心を持ってもらうきっかけを作っています。まだまだ少人数での活動ですが、生物部の活動が広がっていった際は、お借りしている植栽スペースを増やし、街に鮮やかな植物も増やしていきたいです。

●活動日  
生物庭手入れ：毎月第1木曜日 8:00～9:00頃(参加自由)  
生物庭の場所：地下鉄矢場町駅4番出口を南へ。若宮大通久屋 交差点付近



## VOICE ボラスタ 小林優太さんにインタビュー

### ココは挑戦させてくれる場所

#### Q. 大ナゴヤ大学との出会いは？

A. 友達に教えてもらって学生登録をしました。初めて参加した授業は「○(マル)長さんとカンパイ」です。その後、前学長から「名古屋レイブル100人会議」(「これからの『働く』について考えよう」をテーマにした授業)のお手伝いに声をかけていただいて、半スタッフの立場で参加しました。

#### Q. 実際にその授業を手伝ってみてどうでしたか？

A. 初対面の参加者さんが、関わり合いを通して表情が変化していく姿を見て「この授業スゴいなあ」と思いました。また、ボラスタさんの多くは仕事を持っている社会人だと聞き、「それなら自分もやってみよう」と思うきっかけになりましたね。

#### Q. ボランティアスタッフとして携わって、どんな変化がありましたか？

A. やってみたいことが増えましたね。そのほかには、興味を持たなそうな題材をどうやってみんなに興味を持たせるか、そのテーマに関わっている大ナゴヤ大学のスタッフの真剣に考えている姿を見て、自分の発想の仕方も変わりました。大ナゴヤ大学のやり方を思い出し、参考にするようになりました。

#### Q. これからどんな活動していきたいですか？また、今後参加される方へメッセージを！

A. 授業をつくってみたいですね。ココは挑戦させてくれる場だと思うので、やりたいという意志を示せばちゃんと応えてくれます。それに一つやると、また違うスゴい人に出逢うことができる。スゴい人たちに満ちあふれているので、一緒にいるだけで勉強になるし楽しいです。自分もそう思ってもらえる存在になれたらなあ～(笑)。



**プロフィール：**  
キャリア教育などに关心が強く、2012年11月の勤労感謝の日に開かれたレイブルの授業をきっかけにボランティアスタッフになる。2013年にはファンドレイジングイベント、愛フェスの大ナゴヤ大学ブース企画にも参加。仕事の傍ら活動している。

## VOICE 授業コーディネーター 斎藤貴子さんにインタビュー

### 大人が真剣にのめり込める活動

#### Q. 大ナゴヤ大学との出会いは？

A. 副学長との偶然な出会いから、いろいろと相談をしていた時に誘われて。初日にいきなり3つの授業を見学して、そのまま振り返りの会にも参加して、気付けば12時間以上大ナゴヤ大学漬けでした(笑)。

#### Q. 実際見学してみてどうでしたか？

A. おかげですぐに様子がわかりました。活動の流れから、それぞれの役割まで。何よりもボランティアスタッフさんの仕事っぷりを見て「仕事じゃないのになんでこんなにもテキパキと！？大人がそんなにものめり込める活動って何だろう」と衝撃を受けました。

#### Q. 授業コーディネーターとして携わって、どんな変化がありましたか？

A. 私は住んでいる瀬戸の授業をつくることが多いのですが、行政の中にも活動に関心を持ってくれたり、相談にのってくれる人がどんどん増えました。市民活動をされている方に手伝ってもらったことで、地域の中にある壁を低くできたのかなと思います。また、地域と絡んで実行することで、一緒に楽しくやりたいと思っている人が多いということ、そして自分からはなかなか動けないという人が多いことに気づきました。

#### Q. 自分自身への変化はありましたか？

A. 一番変わったのは人との繋がりです。普段の生活では出逢えない、大勢の人との出逢いがありました。そしてその人たちは、私が大ナゴヤ大学で活動しているということで信頼してくれます。それに、たくさんの調整が必要とされる企画の作り方や、お互いへの心遣いを大切とする協調性を学び、その経験が自分自身の仕事に大きく影響しています。

#### Q. これからどんな活動していきたいですか？また、今後参加される方へメッセージを！

A. 大ナゴヤ大学で一番好きな言葉が「街を面白がる」です。どこにでも魅力はあって、誰でも魅力を持っている…街で見つけたキラッと光るものや出逢った人の魅力を紹介していきたいです。今あるものを大切にしながら。



**プロフィール：**  
「YUI Coordinate The Connection」まち人食卓を結ぶコーディネーター。主な事業は地域産業の商品開発、まちづくりアドバイザー、ツアーエベント企画。2012年3月より大ナゴヤ大学へ、2012年9月から授業コーディネーターになる。

## これまでの5年間

さまざまな形でご支援いただいた皆様により、大ナゴヤ大学は開校より丸5年を迎えることができました

### 2009年度

9月12日には開校を迎えた記念すべき年。2008年9月に、名古屋出身でシブヤ大学の近藤ナオ氏と、後の初代学長・加藤慎康ほかの出会いから始まり、そしてつながり、2009年に入り初めての「職員会議」を開催し体制を決定。その後、伝統芸能、NGO、企業、行政など多ジャンルのメンバーが集まつた意見交換の場「Think ナゴヤ!はじまるよ 大ナゴヤ大学」を開催。6月には3つの授業を同時開催したオープンキャンパスを実施し、生徒募集やボラスタとの交流も始まりました。そしていよいよ開校式。「生徒は、先生になることができる」を実現する、地域の散策を行い、発見した情報を紹介する形式の8つの授業を開催した後、河村名古屋市長にも参加いただき開校式を行いました。その後、授業も継続的に開講。この年の末には学生登録1,000人突破。



開校式であいさつする初代学長・加藤慎康

### 2010年度

無事に1周年を迎えた、「1周年記念授業」を9月に開催。大ナゴヤ大学のテーマの一つである「街がキャンパス」を軸に、地下鉄・名城線をキャンパスに、沿線の魅力をスゴロクで回る授業を実施。街の酒屋さんに寄ったり、駅に居合わせたドラゴンズファンにインタビューしたり、名古屋テレビ塔社長と未来を語らうなど、多角度から街の面白さを体感できました。この年は新しくスタートを切った活動も多数。COPIOを機に「地球の生物部」、「文化部」や「はたらく課」、「食ゼミ」、飯田市職員であるボラスタの架け橋で長野県「下栗の里」との交流、企業との多数コラボ授業など。また、当時の愛知県知事候補者を先生に迎え、初めて政治に焦点を当てた授業「未来の知事さんとカンペイ！」を実施。発展と広がりを実感できる1年でした。



1周年記念授業「名城線リアルすごろく」の  
すごろく版

### 2011年度

地元企業とコラボした、シリーズ開催する授業が目立ったこの年。名古屋総合市場様との授業は、見学や買い物などをしながら「常連」を目指して魅力を発掘。フリーペーパー発行で世の中へ情報発信も実現。ブラザー工業様とは、ネーミングライツを持つ名古屋市科学館の「Brother Earth」で天文学の魅力を5回を通して学び、成果を披露。名古屋おもてなし武将隊の家康様と秀吉様を先生に迎えた親子参加の授業は、授業や各自の研究で得た知識を武器に「戦う」内容でした。そのほか、7月に電波塔としての役目を終えた名古屋テレビ塔の存続・撤廃が取り沙汰されたのを機に、市長、県知事も参加し市民と一緒に、これからのテレビ塔、テレビ塔のある街づくりを考える「Think テレビ塔」を開催。翌年度も地元団体と協議を重ね取り組みを続けることになりました。



「Brother Earth」授業

### 2012年度

昨年度から動き出したテレビ塔界隈の活動が、プロジェクト「SOCIAL TOWER PROJECT」として立ち上がり、名古屋市の委託事業としてスタート。市、市民、地域団体、大ナゴヤ大学が連携し、「社交場」を作る目的でマーケットを開催。出店者、来場者、運営との交流が生まれました。フリーペーパー発行では、栄エリアに縁のある人々が主役となり案内した情報を掲載。運営面では初めて「スタッフの雇用」、「事務所の開設」が実現でき活動しやすい環境を確保できました。そのほか、名駅の街についても名古屋鉄道様・名鉄百貨店様とコラボし、社員の方にも参加いただき、ディカッショの場や、通常の授業開催、アンケート(名工大様ご協力)も実施しました。「点」での活動だけでなく、エリアや街をテーマにする「面」に携わるシーンが増えてきました。



テレビ塔の足元で  
SOCIAL TOWER MARKET

### 2013年度

加藤慎康から、加藤幹泰に学長を交代し、新たな1年がスタートしました。コンセプトも「ナゴヤを面白がる人を増やす」に一新。2つの大きなプロジェクトが主体となった1年でした。前年度から継続することができた「SOCIAL TOWER PROJECT」は同年度から自主事業になり、昨年同様マーケット、フリーペーパーに加え、書籍の発売、ツアー開催のほか、クラウドファンディングを初めて活用し、街の案内所をテレビ塔1階に設置するなど、活動の幅を広げました。文化・歴史をテーマにした新プロジェクト「NAMO.」は名古屋市の委託事業で、これまで大ナゴヤ大学が培ってきたつながりを活用し、新たな名古屋の歴史文化の面白みを発掘・発信。学長交代のほか、授業以外にプロジェクトを行うことで、新たに関わる人の数や幅が広がりました。



野村又三郎氏と西川千雅氏が登場した  
NAMO. ファイナルイベント

## これからについて 学長、副学長、事務局長 対談



左から、副学長・岡本ナオト、学長・加藤幹泰、事務局長・大野嵩明

### 5年を迎えて ～「街づくり」と「人づくり」～

**加藤** 大ナゴヤ大学という「街づくり」というワードを連想する人も多いけれど、僕たちは「人づくり」をしているのだと改めて感じる。昨年度から「ナゴヤを面白がる人を増やす」をコンセプトにして、大ナゴヤ大学を通して街に触れ、街に積極的に関わる人を増やそうとしてきた。そんなきっかけ作りをこれからもしていくのだと思う。

**大野** 今まで「街」に興味のなかった人が大ナゴヤ大学での活動をきっかけに、興味を持つようになったり、関わる仕事を携わるようになったり。気がつけば「街づくりをする人」が育つ場所になってきているのかなと。名古屋には、街づくりに特化した人材育成の場もあまりないし、これは大ナゴヤ大学のひとつの特徴になるよね。

**岡本** そうだね、この5年間を振り返ると、人が育つ場を作ってくれたのかもしれない。2人も開校当初はまだいなかったけれど、今は学長と事務局長をしてくれている。大ナゴヤ大学に関わったことで、成長したりステップアップしたりできるチャンスは確かにあるよね。

**加藤** 日ごろ喫茶店に入るくらいの感覚で、生徒になり、先生になり楽しんでほしい。実際に「街を面白がる」という視点に共感してくれる人が増えてきている。ありがとうございます。

**大野** もっと色々な人が関わる環境をつくれるといいと思う。「街に関わりたい」と思っている人たちの学びの場として、遊びの場として、何回か講座を開いてもいい。それが街に関わるきっかけづくりになるかもしれないし。

**岡本** 授業も、授業コーディネーターが作るだけじゃなくて、ボラスタ様とか、外部の人が考える枠とかがあつてもいいよね。そうすれば、人それぞれに合った関わり方ができると思う。

**加藤** 現状ではボラスタ様に、「授業を作ろう」というと、ブレークがかかる人が多くて…。ここは僕たちの課題で、深く関わるためのハードルを乗り越えやすくしたい。

**大野** 色々な枠を作るのはいいと思う。コーディネーターが作り込む授業もありつつ、気軽でゆる~い授業を作れることも必要ですね。

### ミッションを改めて考える ～街の人との“With”を大切に～

**加藤** もう一度、「何で授業をするのか」を考えないといけないと思う。大ナゴヤ大学からの一方的な発信ではなく、ボラスタ様や生徒さんと一緒に「ナゴヤにこんな面白い人がいる、こんな楽しい場所がある」を探し、見つけていければいいな。知らなかつた街の魅力に触れて、関わりを持って。特別な活動と捉えずに「遊び方」のひとつとして楽しんでくれたら嬉しい。そんな遊びが、人生を豊かにすると知つもらえる場づくりをしたいな。

**岡本** 街に直接関わる遊びだよね。個人的には、雀おどり總本店さんに協力していただいた、ういろう授業がよかったな。ういろうへの興味が高まつたし、お土産にもよく持っていくようになった。小さなことに思えるかもしれないけれど、これも「街と関わる」ということ。「授業で出会った先生にまた会いたくなる」「授業のことを友達に話したくなる」。そんな連鎖を生む仕掛けができたらいいよね。

**大野** 昨年はSOCIAL TOWERやNAMO.のように、NPOとして大きな事業もさせていただいた。この経験を踏まえて、「大ナゴヤ大学として何をするのか」を提案していくべきだと思う。選択肢は色々とあるので、5年を終えて改めて自分たちの目標を見定めていきたい。どんな授業をするかも、目標の下に考えていかないと。

**岡本** 開校当初、シブヤ大学から伝わってきたキャッチフレーズで「あなたがいればカタチが変わる」っていうのが、ずっと気に入っています。大ナゴヤ大学も、人や組織の変化に柔軟な団体であればいいなと思う。運営側もボラスタ様も、先生も、生徒も、誰かが関わった瞬間に団体も変わると、街も変われる。そんな変化をナゴヤ中で生み出していきたいね。

**加藤** そうですね。少しでも関心を持ったら、大ナゴヤ大学の話を友達にしたり、遊びにいく感覚で授業に参加してもらえたと思う。事務所にふらっと遊びにきてもらってもいいよね。みなさんと一緒に歩む、「With」を大事にしていきたいから、日々の出会いや発見を面白がる感覚を、たくさんの人と共有したいです。